

# 奥尻町のあゆみ

## 大正のできごと

西暦	年号	奥尻町のできごと
1912	明治45 (大正元)	3月、薬師簡易教育所が薬師尋常小学校と改称。8月、早瀬忠太郎と平出喜三郎が共同出資で奥尻礦山株式会社設立。11月1日、幌内教育所開設。12月、村長に柿添亀吉が就任(歴代3代目)
1913	大正2	2月18日、薬師青年会結成。5月27日、地先水面専用漁業権許可。この年、茶津公友会を茶津青年会と改称。
1914	大正3	1月30日、薬師尋常小学校改築。2月28日、村長に平田三兎が就任(歴代4代目)。6月20日、青苗火防組合結成。9月9日、幌内教育所が幌内尋常小学校と改称。10月、釣懸火防組合結成。
1915	大正4	6月、奥尻森林防火組合結成。7月20日、日蓮宗青苗教会所開設。12月、青苗尋常小学校藻内区域の通学免除(～大正7年3月31日まで)。この年度より奥尻衛生組合が独立経営困難となり、経費全額160円が村費補助となる。
1916	大正5	8月16日、釣懸～青苗間で電信線架設。9月12日、青苗実業補習学校認可。11月3日、茶津青年会が茶津青年団と改称。12月15日、釣石尋常小学校が塩釜9番地に新築移転。
1917	大正6	1月31日、村長に石守吉太郎が就任(歴代5代目)。2月5日、赤石特別教授場開設。2月21日、釣懸～青苗間で電信事務開始。4月1日、釣石尋常小学校に高等科併置。
1918	大正7	4月4日、青苗尋常小学校藻内区域の通学免除が延期(～大正10年3月31日まで)。10月21日、球島特別教授場開設。10月、釣懸～青苗間の道路が開さく。
1919	大正8	1月10日、青苗尋常小学校校舎が改築落成。1月19日、菰澗尋常小学校校舎が新築落成。6月19日、青苗尋常小学校に高等科併置。11月7日、公設青苗消防組結成。
1920	大正9	この年、村会議員の定員数が12人となる。
1921	大正10	3月、長浜～武士川間で1里12町の道路が開さく。4月1日、青苗尋常小学校藻内区域の通学免除が延期(大正13年3月31日まで)。4月30日、村長に新納晴秋が就任(歴代6代目)。8月、青苗沢青年団設立。9月1日、公設釣懸消防組結成。10月、巡查部長派出所が廃止され、警部補派出所設置、宮津巡查駐在所・幌内巡查駐在所設置。
1923	大正12	10月、武士川～東風泊坂間で1里10町の道路が開さく。
1924	大正13	4月1日、檜山水産会奥尻支部設立。7月31日、球島特別教授場廃止。8月、帝国水難救済会奥尻救難所設置。9月4日、警部補派出所が廃止され、巡查部長派出所設置。9月8日、幌内巡查派出所廃止。11月、村長に石井準吉が就任(歴代7代目)。
1925	大正14	11月1日、幌内尋常小学校が廃止され、釣石尋常小学校特別教授場開設。